

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 御所ひろば		
○保護者評価実施期間	2025年1月13日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 53
○従業者評価実施期間	2025年1月13日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・室内で遊べる遊具が充実している。子どもの好きな感覚が十分に楽しめるように、吊り遊具の種類は10種類以上あり、大型マットやトランポリンなどの大型遊具も使い、室内遊びが充実できる。 ・市バスや地下鉄などの公共交通機関を利用して近隣の公園に出掛けたり、御所児童公園を利用しており、園内の遊具で遊んだり、自然物を通して季節を感じながら遊ぶことができる。 ・子どもの年齢でグループを決めるのではなく、同じ遊びが共有して楽しめるようになるかを考えながら小人数でのグループ療育を行っている。また、子どもの特性に合わせて集団に入れない子どもには個別療育も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの課題や遊びのねらいに応じた設定を考えている。 ・遊びが固定化しないように、子どもの姿から遊びの中で何をねらうのか、何を目的にするのかを意識しながら遊びを考え、遊具を組みあわせながら活動に取り組みめるように工夫している。 ・グループに合わせて行く公園を選び、公共交通機関を使って外出する機会をつくっている。 ・公園へ行くまでの道中で交通ルールに触れるようにしている。 ・グループを決める際には、保護者が通いやすい曜日を考慮し、子どもにとっても活動が充実できるようグループを決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今あるもので遊ぶだけではなく、子どもの姿からどういったものが楽しめるのかを検討し、新たに購入するなど、遊具の充実をさらに図っていく。 ・子どもの発達や特性に応じて遊びの設定を行い、子どもたちが楽しみながら取り組める内容を今後も検討していく。 ・日々の振り返り、打ち合わせでは必要に応じて実施回数を増やしたり、話切れないことは月1回のグループ会議で話し合う。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・OTや発達相談など専門的な知識を持っている職員からアドバイスをもらうことができたり、療育職員も日々子どものことを振り返り、各々が研修に参加するなど向上心も高く、療育の質の向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職員からの子どもの姿を、報告を通して職員で共有し、普段の様子も含めて大事にしていく事を確認したり、子どもの姿を職員全体で共有できるようにしている。 ・打ち合わせや振り返りでは、子どもの課題を通して遊びのねらいや子どもの姿から考察した関わり方の話ができるように心掛けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の子どもの姿から気になったことやアドバイスが欲しい時には職員がすぐに聞いたり、学びとなるような研修を企画しながら専門性を高めていきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士が悩みを共有しながら自分の思いを話せたり、保護者同士の交流の場も含めて、保護者グループを実施している。また、希望により個別相談も実施するなど、保護者が悩みや不安、心配事などを話せる機会がある。 ・家族等も参加できる学習会や情報提供の機会等を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が話をしやすくなるような環境設定に配慮したり、保護者との交流がもちやすくなるように間に入りながら話してもらおうようにしている。 ・療育や子育てについて知る機会として家族学習会を実施したり、就学に向けての学習会を行っている。また、保護者グループを月一回実施しており、日々の悩みや困り感等を共有し話し合う機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者グループには母の参加が多いが、父や祖父母が送迎をされる家庭が増えてきているため、保護者グループを実施することを説明し、参加の有無を保護者に決めてもらうなど、参加に繋がるきっかけをつくる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に使用する部屋がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テナントのため限られた空間しか使用できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の窪みや廊下を使うなど、子どもたちが過ごしやすいような部屋の使い方や、必要に応じて2階も使いながら子どもたちが楽しめるようにスペースを確保していく。 ・天候が良い時には、グループの子どもを2グループに分けて公園に行ったり、室内遊具を充実させることで、子どもたちの活動が充実できるように日々考えている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の利便性が高く、事業所の近隣にはコインパーキングも多数ある。しかし、利用が多く満車になっていることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーキングに空きがない時には、職員が子どもを迎えに行き、保護者には駐車場を探してもらうなど職員が対応できることを行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・行事は行っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園と併行通園している子どもたちが多く、大きな集団で行事の練習に参加しにくい子どもたちがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望があれば検討する。